

# 平成29年度予算案の概要(抜粋)

厚生労働省

# 横断的課題である働き方改革と生産性向上①

【内の計数は、平成29年度予算案  
( )内の計数は、平成28年度当初予算額

## 1. 生産性向上に向けた労働環境の整備

- **人材育成の充実** 【758億円】（668億円）  
（先進企業の好事例を活用したオーダーメイド型訓練の開発、専門実践教育訓練給付の拡充、資格取得などを可能にする長期の離職者訓練の拡充・新設 等）
- **成長企業への転職や復職の支援の強化** 【77億円】（74億円）  
（成長企業が転職者を受け入れて行う能力開発や賃金アップに対する助成の拡大、企業情報の見える化の推進 等）
- **最低賃金・賃金の引上げ等の支援の強化** 【100億円】（27億円）  
（最低賃金全国加重平均1,000円達成に向けた中小企業の支援の拡充、人事システムの改善を通じた賃金引上げの環境整備に対する助成を創設 等）
- **労働関係助成金の見直し** 【2.2億円】  
（企業の生産性向上の実現を後押しする仕組みを労働関係助成金に導入、企業への相談・支援を行う専門のアドバイザーを配置）

## 2. 同一労働同一賃金の実現に向けた非正規雇用の待遇改善

- **非正規雇用労働者の正社員転換・同一労働同一賃金の実現に向けた待遇改善**の取組（一部再掲）  
【608億円】（376億円）  
（キャリアアップ助成金の拡充、同一労働同一賃金の実現に向けた待遇改善の支援（「非正規雇用労働者待遇改善支援センター（仮称）」の設置） 等）
- **多様で安心できる働き方の普及拡大** 【2.5億円】（2.4億円）  
（「多様な正社員」の導入支援、シンポジウムやセミナーの開催による周知徹底 等）

# 横断的課題である働き方改革と生産性向上②

## 3. 長時間労働の是正

- **長時間労働の是正に向けた法規制の執行強化** 【10億円】（5.2億円）  
（月80時間超の残業が疑われる事業場に対する監督指導の強化 等）
- **テレワークの推進** 【16億円】（14億円）  
（テレワーク普及のための仕事と子育てとの両立を支援するサテライトオフィスを活用したモデル事業の実施 等）
- **勤務間インターバルの自発的導入の支援等**（一部再掲） 【21億円】（20億円）  
（勤務間インターバルを導入する中小事業主への支援 等）

## 4. 高齢者・障害者等の活躍促進

- **企業における高齢者の定年延長・継続雇用の促進、再就職支援の強化** 【72億円】（25億円）  
（65歳以降の定年延長や継続雇用制度の導入を行う企業に対する支援の実施、ハローワークの「生涯現役支援窓口」の増設 等）
- **高齢者の生きがいの充実、地域における就業機会の確保** 【151億円】（130億円）  
（地域の実情に応じた高齢者の多様な就業機会の確保（「生涯現役促進地域連携事業」の拡充）、シルバー人材センターの機能強化（「地域就業機会創出・拡大事業」の拡大等））
- **障害者の「働く」環境の整備、治療と仕事の両立** 【162億円】（133億円）  
（精神障害など多様な障害特性に応じた就労支援の推進、障害者及び企業への職場定着支援の強化、産業保健総合支援センターにおける両立支援の推進機能強化、ハローワークとがん診療連携拠点病院等との連携による就労支援の強化、不妊専門相談センターの機能強化 等）